

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その1)

2020年1月

「スマートプラットフォーム・フォーラム」設立発表会		第1回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2013(平成25)年12月2日(月) 15:30~16:50	開催日・時	2014(平成26)年3月17日(月) 14:00~18:00
開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 東館ホール8F	開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 南館ホール
開会挨拶	山下徹 理事長	テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」~第1弾:農業分野のスマート化からビジネスを考える
発起人代表挨拶 (委員長挨拶)	「フォーラム設立に当たって」 村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部長・教授)	開会挨拶	村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部長・教授)
発起人挨拶Ⅰ (幹事挨拶)	「フォーラム活動について」 南 政樹氏(慶應義塾大学 SFC研究所 研究員)	幹事説明	「スマートプラットフォーム・フォーラム活動の進め方」 南 政樹氏(慶應義塾大学 SFC研究所 研究員)
発起人挨拶Ⅱ	「スマート」とは 稲蔭正彦氏(慶應義塾大学 メディア・デザイン研究科長 教授)	基調講演	「インターネット前提社会」 村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部長・教授)
発起人挨拶Ⅲ	「W3CとWEB面からのコメント」 舟橋洋介氏(株式会社トマジ 特別顧問)	講演Ⅰ	「空間情報インフラと作物モデリングをベースとする農業情報サービス」 本多 潔氏(中部大学中部高等学術研究所 国際GISセンター教授)
		講演Ⅱ	「クボタスマートアグリシステム(KSAS)」 飯田 聡氏(株式会社クボタ 常務執行役員 開発本部副本部長)
質疑応答	司会:飯野嘉郎 事務局長 登壇者:村井 純 代表発起人(委員長)、稲蔭正彦 発起人、舟橋洋介 発起人、南 政樹 発起人(幹事)	パネルディスカッション	テーマ:「農業分野のスマート化からビジネスを考える」 モデレータ:村井 純 委員長、パネリスト:本多 潔氏、飯田 聡氏 高原 幸一氏(株式会社NTTドコモ M2Mビジネス部長、プレゼン:「農業分野のM2M活用事例について」) 庄司 昌彦氏(デジタルコンテンツ・データ分科会主査、国際大学 GLOCOM 主任研究員) 舟橋 洋介氏(サービス・WEB分科会主査、W3C Web & TV IG共同議長) 南 政樹氏(デジタルインフラ分科会主査、慶應義塾大学 SFC研究所 研究員)
閉会挨拶	関 祥行 副理事長	閉会挨拶(*)	飯野 嘉郎 事務局長、*:フォーラム参加募集の説明を含む
		共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金
参加者数	会場参加者:89名(内訳:一般参加者:75名(内 報道関係者:12名)、直接関係者:14名)	来場者数	会場参加者:151名(内訳:一般参加者:137名、直接関係者:14名) ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:1,308、コメント数:350
		アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	アンケート調査 (本発表会は有意義でしたか?)
	大変有意義だった:20.3% 有意義だった:73.0% どちらとも言えない:6.8% 無意味だった:0%		大変有意義だった:31.6% 有意義だった:59.6% どちらとも言えない:8.8% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その2)

第2回スマートプラットフォーム・フォーラム		第3回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2014(平成26)年9月8日(月)14:00～18:00	開催日・時	2015(平成27)年3月26日(木)14:15～17:30
開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール	開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール
テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」～第2弾:スマート健康・医療プラットフォームの課題を考える～	テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」～農業ITの将来と「スマートアグリ」のグローバル展開～
開会挨拶	村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部長・教授)	開会挨拶/ 基調講演	村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部長・教授) テーマ:「スマートプラットフォーム:具体的な進展」
基調講演	「医療におけるICT分野の役割と使命」 松本純夫氏 (独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 名誉院長)	分科会報告Ⅰ	「スマートアグリ」デジタルインフラ分科会検討報告 南 政樹 幹事、デジタルインフラ分科会主査(慶應義塾大学 環境情報学部講師)
講演Ⅰ	「医療の世界最先端の知的基盤化」 吉田 淳氏(内閣官房 健康・医療戦略室 企画官)	分科会報告Ⅱ	「スマートアグリ」データ・コンテンツ分科会検討報告(農業生産物の選択の幅を広げるノーバ(農場)) 庄司 昌彦氏(デジタルコンテンツ・データ分科会主査、国際大学 GLOCOM 主任研究員)
講演Ⅱ	「ヘルスケアプラットフォームにおける価値創造」 森川富昭氏(慶應義塾大学大学院政策・メディア研究科准教授)	分科会報告Ⅲ	「スマートアグリ」サービス・WEB分科会検討報告 舟橋洋介 サービス・WEB分科会主査(慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科 特任准教授、W3C Agriculture CG共同議長)、代理説明:南 政樹 幹事
パネルディスカッション	テーマ:「スマート健康・医療プラットフォームの課題を考える」 モデレータ: 森川富昭氏、パネリスト:松本純夫氏、吉田 淳氏 渡辺賢治氏(慶應義塾大学環境情報学部教授、医学部兼任教授、プレゼン:「漢方を通じた個別化医療の道」) 田口空一郎氏(一般社団法人フューチャー・ラボ 代表理事、プレゼン:「健康・医療のスマートプラットフォームとは?」) 庄司昌彦 デジタルコンテンツ・データ分科会主査(国際大学 GLOCOM主任研究員)	パネルディスカッション(第1部)	テーマ:「農業ITの将来～農業ITが当たり前になる時代に～」 モデレータ:村井 純 委員長、パネリスト: 榊 浩行氏(農林水産省 生産局農産部技術普及課 課長、プレゼン:「スマート農業の推進」) 二宮正士氏(東京大学大学院 農業生命科学研究科 教授、プレゼン:「2050年には人口は90～95億? 食料は足りるか?」) 長網宏尚氏((株)クボタ 農機第一事業推進部 KSAS業務グループ長、プレゼン:「クボタスマートアグリシステム KASAのご紹介」) 遠藤 諭 データ・コンテンツ分科会副主査((株)角川アスキー総合研究所取締役 主席研究員、プレゼン:「ネットからリアル空間の変革が始まっている」)
		パネルディスカッション(第2部)	テーマ:「スマートアグリ」のグローバル展開～「スマートアグリ」を国際戦略の柱に～ モデレータ:村井 純 委員長、パネリスト: 田雑征治氏(内閣官房 情報通信技術(IT)総合戦略室 企画調査官(農業IT担当)、テーマ:「スマートアグリ」のグローバル展開～「スマートアグリ」を国家戦略の柱に～) 木浦卓治氏(独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構 中央農業総合研究センター上席研究員、W3C Agriculture CG共同議長、プレゼン:「スマートアグリ」のグローバル展開～「スマートアグリ」国際戦略の柱に～) 本多 潔氏(中部大学 中部高等学術研究所 国際GISセンター教授、プレゼン:「IT農業の日本と世界の動向」) 田中邦裕 デジタルインフラ分科会副主査(さくらインターネット(株) 代表取締役社長、プレゼン:「さくらインターネットのご紹介」)
閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長	閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長
共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金	共催・協賛	共催:一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、文部科学省気候変動適応研究推進プログラム「地球環境変動下における農業生産最適化支援システムの構築」、一般社団法人ALFAE、協賛:株式会社クボタ
来場者数	会場参加者:165名(内訳:一般参加者:147名、直接関係者:18名)	来場者数	会場参加者:113名(内訳:一般参加者:94名、直接関係者:19名)
	ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:147		ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:710
アンケート調査(本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:61.9% 有意義だった:38.1% どちらとも言えない:0% 無意味だった:0%	アンケート調査(本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:44.0% 有意義だった:52.0% どちらとも言えない:4.0% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その3)

第4回スマートプラットフォーム・フォーラム		第5回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2015(平成27)年9月11日(金)14:00~18:00	開催日・時	2016(平成28)年3月28日(月)14:00~18:00
開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール	開催場所	慶應義塾大学 三田キャンパス 北館ホール
テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」～高齢化社会における住環境のスマート化を考える～	テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」～2020年のスマート健康・医療プラットフォーム～
開会挨拶/ 基調講演 I	村井 純 委員長(慶應義塾大学 環境情報学部長・教授) テーマ:「Living in the IoT Word」	開会挨拶	飯野嘉郎 事務局長(注:村井純委員長が体調不良で、司会の飯野嘉郎 事務局長が代行した)
基調講演 II	「住宅・建築・都市のスマート化」 村上周三氏(一般財団法人建築環境・省エネルギー機構 理事長)	分科会報告	「健康・医療分科会 活動報告」 南 政樹 健康・医療分科会主査(慶應義塾大学 環境情報学部 講師)
講演 I	「高齢化世帯住宅のホームネットワークを考える」 境 真良氏(国際大学 GLOCOM 客員研究員)	基調講演	「IoTが創るHospital in the Home-遠隔医療の現場が変わる？」 松本純夫氏(独立行政法人国立病院機構 東京医療センター 名誉院長)
講演 II	「スマートハウスの実現に向けて」 竹川禎信氏(パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 専務)	講演 I	「次世代医療ICT基盤の構築に向けて」 堀内直哉氏(内閣官房 健康医療戦略室 企画官)
講演 III	「超高齢社会 在宅におけるヘルスケア・見守りのスマート化」 西川勝利氏(セコム医療システム株式会社 常務取締役 在宅ヘルスケア本部長)	講演 II	「自律分散協調ヘルスケア」 橋田浩一氏(東京大学 大学院情報理工学系研究科 ソーシャルICT研究センター 教授)
パネルディスカッション	テーマ:「高齢化社会における住環境のスマート化を考える」 モデレータ: 遠藤 諭 デジタルコンテンツ分科会副主査(株式会社角川アスキー総合研究所 取締役 主席研究員)、パネリスト: 境 真良氏、竹川禎信氏、西川勝利氏、南 政樹 デジタルインフラ分科会主査(慶應義塾大学 環境情報学部 講師)	講演 III	「テレビのデータ放送を使った双方向コミュニケーションによる地域活性化と見守りの取り組み」 高橋伸夫氏(株式会社日立製作所 情報・通信システム社 公共システム事業 官公ソリューション 第三本部 主任技師)
		パネルディスカッション	テーマ:「2020年のスマート健康・医療プラットフォーム」、 モデレータ:南 政樹 健康・医療分科会主査(慶應義塾大学 環境情報学部講師)、パネリスト:松本純夫氏、堀内直哉氏、橋田浩一氏、高橋伸夫氏
閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長	閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長
共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、慶應義塾大学 未来創造塾	共催・協賛	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、慶應義塾大学 未来創造塾
来場者数	会場参加者:147名(内訳:一般参加者:129名、直接関係者:18名)	来場者数	会場参加者:156名(内訳:一般参加者:141名、直接関係者:15名)
	ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:494		ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:419
アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:32% 有意義だった:64% どちらとも言えない:4% 無意味だった:0%	アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:32.9% 有意義だった:63.3% どちらとも言えない:3.8% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その4)

第6回スマートプラットフォーム・フォーラム		第7回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2016(平成28)年10月21日(金) 13:30～17:30	開催日・時	2017(平成29)年7月5日(水) 14:00～18:00
開催場所	東京大学 本郷キャンパス 武田ホール	開催場所	東京大学 本郷キャンパス 武田ホール
テーマ	新産業を創出する「スマートプラットフォーム・フォーラム」～2020年のスマートプラットフォーム<IoTで日本を元気に!>～	テーマ	<2020年IoTで日本を元気に!>イノベーションを成功させるデザイン&「新事業育成分科会」等の新設
開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)	開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学 先端科学技術研究センター 教授)
基調講演	「非連続に変化する時代の着眼点」 谷川史郎氏(株式会社野村総合研究所 理事長)	基調講演	「なぜイノベーションにデザインが必要か?」 白根英昭氏(株式会社mot 代表取締役CEO ストラジスト)
講演Ⅰ	「人とモノのミライを作る通信の役割」 宇佐見正士氏(KDDI株式会社 理事 技術統括本部 技術開発本部長)	講演Ⅰ	「デザイナーと研究者が出会うとき - 同床化によるイノベーションの試み」 平井千秋氏(株式会社日立製作所東京社会イノベーション協創センタ 主管研究長)
講演Ⅱ	「IoTとディープラーニングの関係性について」 松田総一氏(リープマインド株式会社 代表取締役CEO)	講演Ⅱ	「有志からイノベーションを目指して～87プロトタイプの意味～」 角岡幹篤氏(株式会社富士通研究所IoTシステム研究所 IoTサービスプラットフォームプロジェクト、OneJAPAN ハッカソン分科会代表)
講演Ⅲ	「IoTスタートアップが牽引するデジタル・トランスフォーメーション」 安達俊久氏(グローバルIoTテクノロジーベンチャーズ株式会社 代表取締役社長)	講演Ⅲ	「ドコモの農業IoTと地方創生の取り組み」 有本香織氏(株式会社NTTドコモ 第一法人営業部IoTプロジェクトチーム IoTデザインガール(アグリガール002))
パネルディスカッション	テーマ:「2020年のスマートプラットフォーム<IoTで日本を元気に!>」 モデレータ: 森川博之委員長、パネリスト: 南政樹幹事(慶應義塾大学 環境情報学部講師)、谷川史郎氏、 宇佐見正士氏、松田総一氏、安達俊久氏、	パネルディスカッション	テーマ:イノベーションを成功させるデザイン モデレータ: 森川博之 委員長、パネリスト: 白根英昭氏、平井千秋氏、角岡幹篤氏、有本香織氏
		講演Ⅳ	「農業データ・コンテンツ分科会からウェルフェアイノベーション分科会へ」 庄司昌彦 分科会主査(国際大学グローバルコミュニケーションセンター 准教授)
		講演Ⅴ	「新事業育成分科会の活動について」 杉本誠司 分科会主査(株式会社エクササイズ代表取締役社長、元 株式会社ニワンゴ代表取締役社長)
閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長	閉会挨拶	飯野 嘉郎 事務局長
共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、慶應義塾大学 未来創造塾	共催・協賛	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、日本農業情報システム協会、協賛:株式会社NTTドコモ
来場者数	会場参加者:95名(内訳:一般参加者:80名、直接関係者:15名) ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:90	来場者数	会場参加者:115名(内訳:一般参加者:96名、直接関係者:19名)、懇親会:47名 ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:235
アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:43.9% 有意義だった:53.7% どちらとも言えない:2.4% 無意味だった:0%	アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:47.5% 有意義だった:52.5% どちらとも言えない:0% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その5)

第8回スマートプラットフォーム・フォーラム		第9回スマートプラットフォーム・フォーラム	
開催日・時	2018(平成30)年4月17日(火) 14:00~17:40、交流会:17:50~19:10	開催日・時	2019年4月9日(火) 14:00~18:00、交流会:18:10~19:30
開催場所	東京大学 本郷キャンパス 武田ホール	開催場所	東京大学 本郷地区キャンパス 武田ホール
テーマ	「Society5.0時代の人材育成」	テーマ	「健康・医療分野の課題をどう解決するか?~ICT活用を中心に~」
開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学大学院 工学系研究科 教授)	開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学大学院 工学系研究科 教授)
基調講演	「これからのICT人材育成に必要なこと」 栄藤稔氏(大阪大学 先導的学際研究機構 教授)	特別講演	「健康・医療分野におけるデータ活用の在り方」 江崎禎英氏(経済産業省 商務・サービスグループ政策統括調整官、(兼)厚生労働省 医政局統括調整官、(兼)内閣官房 健康・医療戦略室次長)
講演 I	「i.school: Innovation = 実践x理論」 横田 幸信氏(i.schoolディレクター, i.lab, Inc. マネージングディレクター)	基調講演 I	「4K・8Kテレビ時代を迎えるネット診療への期待と課題」 松本純夫氏(独立行政法人国立病院機構東京医療センター名誉院長、厚生労働省 顧問、内閣官房IT推進戦略本部委員)
講演 II	「スタンフォード大学発 国際的産学連携ネットワーク:ME310/SUGAR」 スシ スズキ氏(京都工芸繊維大学 KYOTO Design Lab 特任准教授)	基調講演 II	「医療におけるトレーサビリティの確立を目指して」 落合慈之氏(NTT東日本関東病院名誉院長、東京医療保健大学学事顧問、GS1ヘルスケアジャパン協議会会長、医療トレーサビリティ推進協議会理事長)
講演 III	「社会変革を担う博士人材の育成ー京都大学デザインスクールの試みー」 石田 亨氏(京都大学 情報学研究所 社会情報学専攻・教授)	講演 1	「ヘルスケアのためのパーソナルデータエコシステム」 橋田浩一氏(東京大学大学院 情報理工学系研究科ソーシャルICT研究センター教授)
講演 IV	「未踏のご紹介」 竹内郁雄氏(東京大学 名誉教授, IPA未踏統括プロジェクトマネージャ)	講演 II	「規制改革推進会議からみた一貫通貫の医療」 川渕孝一氏(東京医科歯科大学大学院 医歯学総合研究科医療経済学分野教授)
パネルディスカッション	テーマ:「大学・企業のイノベーション教育はどうあるべきか」 モデレータ: 栄藤 稔氏 パネリスト:横田幸信氏、スシ スズキ氏、石田亨氏、竹内郁雄氏	講演 III	「超高齢社会~佐渡島~における社会保障提供の現実と対策」 佐藤賢治氏(新潟県厚生連佐渡総合病院 院長)
	閉会挨拶	飯野嘉郎 事務局長	パネルディスカッション
共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、一般社団法人情報社会デザイン協会	共催	一般社団法人IPTVフォーラム、一般社団法人デジタルメディア協会、公益財団法人原総合知的通信システム基金、ヘルスケアIoTコンソーシアム、ITヘルスケア学会、GS1ヘルスケアジャパン協議会、医療トレーサビリティ推進協議会
来場者数	会場参加者:119名(内訳:一般参加者:100名、直接関係者:19名)	来場者数	会場参加者:142名(内訳:一般参加者:125名、直接関係者:17名)
	ネット参加者(ニコニコ生放送累積来場者)数:230		ネット参加者(V-CUBEライブ・オンデマンド累積来場者)数:89
アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:51.1% 有意義だった:48.9% どちらとも言えない:0% 無意味だった:0%	アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:67.6% 有意義だった:32.4% どちらとも言えない:0% 無意味だった:0%

これまでの「スマートプラットフォーム・フォーラム」の実施概要(その6)

第10回スマートプラットフォーム・フォーラム			
開催日・時	2019年4月17日(火) 14:00~17:40、交流会:17:50~19:10		
開催場所	東京大学 本郷地区キャンパス 武田ホール		
テーマ	「『ローカル5G』のユーザ視点からの推進について」		
開会挨拶	森川博之 委員長(東京大学大学院 工学系研究科 教授)		
特別講演	「データ主導社会の実現に向けて」 谷脇康彦氏(総務省 総合通信基盤局長)		
講演Ⅰ	「5Gの普及展開に向けた取り組み」 萩原直彦氏(総務省 総合通信基盤局 電波部 移動通信課長)		
講演Ⅱ	「ローカル5Gの可能性と情報通信の民主化への期待」 中尾彰宏 研究会委員長(東京大学大学院 情報学環 教授)		
パネルディスカッション	<p>テーマ:「ローカル5Gの利用分野と普及推進の課題~Local 5G・自営網技術の情報通信民主化がもたらす革命~」</p> <p>モデレーター: 中尾彰宏 研究会委員長(東京大学大学院 情報学環 教授)</p> <p>パネリスト:</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関口和一氏((株)MM総研 代表取締役所長、元日本経済新聞社論説委員:「5G戦略で問われる日本の競争力」) ・岩浪剛太氏((株)インフォシティ 代表取締役:「ローカル5Gの利用シーンイメージ」) ・石津健太郎氏((独)情報通信研究機構 経営企画部 企画戦略室 プランニングマネージャー:「ローカル5Gの本質的な役割と利用促進に向けた課題」) ・藤本幸一郎氏(日本電気(株)新事業推進本部 主席主幹:「ローカル5G導入のインパクトと実現に向けた課題」) ・伊藤陽彦氏(東日本電信電話(株)ネットワーク事業推進本部 高度化推進部長:「NTT東日本におけるローカル5Gの展望と課題」) ・吉本明平氏((一財)全国地域情報化推進協会 企画担当部長、関東学院大学非常勤講師 地域情報化アドバイザー:「地域課題解決の手段としてローカル5Gが選ばれるには」) ・渡部宗一氏(イーヒルズ(株) 取締役:「ユーザーがこれからの通信に期待するもの」) 		
閉会挨拶	青山友紀 BA理事(東京大学 名誉教授)		
共催	(一社)情報通信ネットワーク産業協会、(一社)電気通信協会、(一社)電気通信事業者協会、(特非)映像産業振興機構、(一社)デジタルメディア協会、(一財)モバイルコンテンツフォーラム、(一社)IPTVフォーラム、(公財)原総合的通信システム基金、(一社)情報サービス産業協会、(一財)関西情報センター、(一財)インターネット協会、(一財)全国地域情報化推進協会		
来場者数	会場参加者:245名(内訳:一般参加者:225名、直接関係者:20名) ネット参加者(V-CUBEセミナー累積来場者):817名		
アンケート調査 (本フォーラムは有意義でしたか?)	大変有意義だった:59% 有意義だった:41% どちらとも言えない:0% 無意味だった:0%		